

2009年3月3日

2009年1月実施自転車リユース報告書

環境三四郎

1. 2008年1月企画概要

2008年7月実施の自転車リユースに引き続き、希望者への放置自転車の譲渡を行った。2008年度秋に本部環境グループ交通管理チームが実施した放置自転車撤去の際に放置されていた自転車のうち、所有者に不要の意思が確認できた自転車について、希望者を募り、自転車の譲渡を行った。

2. 日程

2008年

12月19日(金)	環境グループとの打ち合わせ
12月19日、22日	計51台を七徳堂北側通路に移動(交通管理チーム)
12月22日(月)	留学生センターとの打ち合わせ
12月25日(木)	ポスターを全9学部の教務および工学部各専攻に掲示依頼 学内一般掲示板への掲示、応募受付開始
12月26日(金)	留学生センター発行の留学生向けメールマガジンでの広報
12月28日(日)	譲渡予定自転車の現物調査(1回目)

2009年

1月5日(月)	台数が少ないため2日間開催予定から1日開催に変更
1月12日(月)	譲渡予定自転車の現物調査(2回目)
1月13日(火) 17時	応募締切 その後、抽選
1月15日(木)	午前までに応募者全員に抽選結果をメールでの連絡を完了
1月19日(月)	自転車リユースを実施

3. 対象とする自転車

2008年度秋に本部環境グループ交通管理チームが実施した放置自転車撤去の際に放置されていた自転車約500台のうち、所有者に不要の意思が確認できた自転車58台を譲渡の対象とした。

放置自転車全体 約500台

うち H19の登録シールがあるもの 237台

内訳：所有者に連絡が取れない76台

連絡が取れ、H20の登録をすると約束 90台

連絡が取れ、自宅へ持ち帰る 11台

連絡が取れ、放棄の意思が確認できた 60台

60台のうち現物を確認できたもの 58台

58台のうち、修理できないほど壊れているものを除く51台を、交通管理チームに七徳堂南側通路に運んでいただいた。このときに、自転車の鍵を切断している。

この51台を譲渡予定自転車とし、12月28日、1月12日の2日間で主として以下の点について状態を調べた。

- ・ペダルを回すことができるか
さびついて動かないもの、チェーンが外れているものなど
- ・ブレーキが機能するか
ブレーキワイヤが切れているものなど
- ・パンクしていないか
- ・その他、サドルなどに大きな損傷がないか

パンクしているのか単純に空気が抜けているのか区別のつかない自転車が多かったため、1月12日にはすべての自転車のタイヤに空気をいれて、1月19日(自転車リユース当日)の準備時にパンクかどうかの判断を行った。

これらの調査の結果、さびついて動かなくなったり、ハンドルやブレーキが壊れていたりするものなど修理に多大な費用がかかると思われる自転車が18台、パンク程度の修理を要する自転車が20台強、残りの20台弱がほぼ修理せずに使用できるものだとわかった。

4. 希望者の募集と抽選

一般掲示板および各学部学科掲示板へのポスター(資料1)の掲示により自転車希望者募集した。各学部学科へは各教務担当に個別に依頼したが、掲示板へのポスター掲載のみ、ウェブ掲示板へも掲載など、部局によって対応が違ったようである。また、需要が大きいと考えられる留学生向けの広報の試みとして、留学生センター発行のメールマガジンに日本語と英語で掲載していただいた。

希望者には名前と所属、連絡先を記載の上、メールで応募していただいた。年末年始を挟んだ3週間ほどの受付期間で、190名からの応募があった。うち、留学生が60名強と約1/3を占め、職員からも若干名の応募があった。応募者の所属内訳は下記のグラフのとおりである。

修理が困難な自転車を除き、譲渡が可能と判断した自転車は30台強であったため、当日会場に来ない人数も考慮し、当選者数は40名とした。乱数により、応募者の中から40名を選び、応募者全員にメールにより、当落の通知を行った。

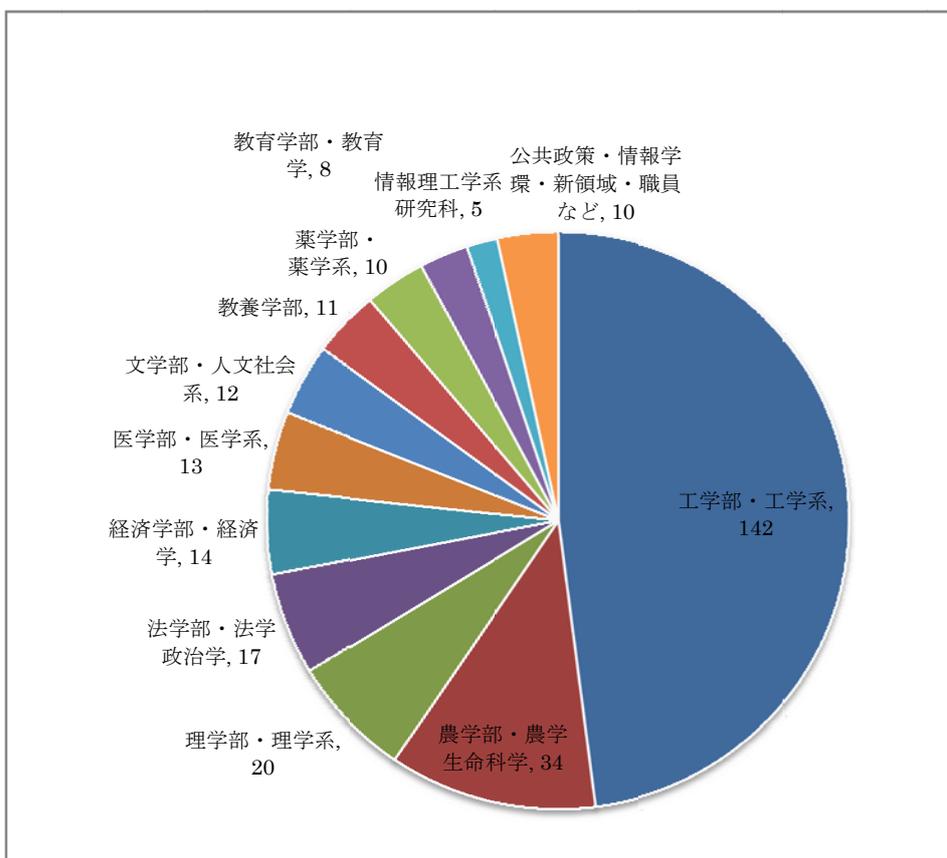
今回は、不良自転車が多かったため、当選者向けに自転車の状態を案内するウェブページを環境三四郎のウェブサイト内に設けた。<http://www.sanshiro.ne.jp/reusebicycle/> 自転車リユース当日に印刷してもってきている当選者がいるなど、メールを補足する効果があったと考えている。

応募者内訳

1月実施分の応募者 190名

うち留学生と思われる人：60名

1月実施の応募者 190名+2008年7月実施の応募者 106名 計 296名の所属は下記のグラフのとおりであった。



5. 自転車リユース当日

日時：2009年1月19日(月) 12時～13時

場所：七徳堂北側通路(御殿下グラウンドと七徳堂の間)

流れ：

- 11時 会場準備 (交通管理チームにチェーンを外してもらい、自転車の整理、番号札の取り付けなどを行った。) 環境三四郎 4名
- 12時 開場 当選者が集まりはじめる
- 12時10分 順次手続き開始
当選番号順に10人ごとに、集合時間を12時10分～40分まで10分ずつずらして連絡していた。
- 13時00分 配布終了
- 13時30分 撤収完了

内容：

まず、来場した人に身分証を提示していただいて当選者であることを確認し、注意事項を書いた紙を配付した。12時10分以降、当選番号が若く、また集合時間に間に合った人から順番に自転車を選んでもらい、交通管理チーム担当者により順次譲渡の手続きを行った。集合時間に遅刻した人は、その時刻からの参加とした。

当選者40人のうち、当日会場に来た人は31人で前回(30人中26人)よりも来場率が悪かった。希望する自転車がなくなったため権利放棄した人が1名いたが、残りの30名が自転車を受け取った。

当日用意したもの：

- ・当選者名簿(受付用)
- ・自転車につける番号札
- ・注意事項を書いた紙
- ・自転車の譲渡書類(交通管理チームで用意)
- ・ボールペン、クリップボード、雑巾、ステープラー
- ・空気入れ

6. まとめと今後の課題

- ・配布方法

今回は当選番号の若い順に10人ごとのグループに分け、グループごとに受付時間を変えて、同じグループでは先着順に選んでもらったが、今回は完全に当選番号順とした。次々と自転車を選んでもらうことができ、またわかりやすい方法なのでよかったと思う。一方で、当選番号は遅いが、早くから自転車を見に来て自転車の目星をつけている人がいたが、当選番号の若い人が優先となるため心苦しい場面もあった。

譲渡の書類作成手続きは、前回の反省を生かし、交通管理チームの協力のおかげで迅速に行うことができ、1時間で30台分の手続きを行うことができた。1時間の昼休みの対応では、30台程度が適当な時間であると考えられる。台数が増えるようであれば、当初想定していたように複数日での開催が必要であろう。

- ・留学生センターとの協力

留学生からの自転車の需要が大きいことは以前からわかっていたが、言葉の面での対応が難しく積極的な広報は行ってこなかった。今回は、留学生センターの大西さんの協力をいただき、留学生センター発行の留学生向けメールマガジンに案内文を掲載していただいた。また配布当日にも、環境三四郎のメンバーで英語の対応が困難なときに対応していただいた。

応募者向けの抽選結果通知メールの文面は日本語と英語の両方を用意したが、当日配布

した注意事項を書いた紙は、英語文面を用意できなかったのが今後の課題である。

・広報と応募者

前回よりも受付期間が長かったためか、応募者が約 2 倍に増え、需要の大きさを改めて確認した。また、前回に引き続き携帯電話からの応募が多かった。これは、ポスターに応募用メールアドレスの QR コードを掲載し、ポスターを見てその場で応募した人が多かったためと思われる。

・譲渡自転車の整備

譲渡対象とする自転車は長い間放置されていたものなので、自転車のかごの中にごみがたまっていたり、全体が泥で汚れていたりすることがよくある。また、サドルだけが不良品ではほかの部分がきれいな自転車などもあった。このような自転車がリユースされないのはもったいないので、事前に不良となっているサドルを交換したり、大きなごみや汚れだけは取り除いておいた。できるだけ多くの自転車をリユースするために、作業に余裕があれば、整備をしておくべきである。

また、長期間の放置で単純に空気が抜けているだけなのか、パンクしているのか判断のつかない自転車が多かったため、今回は、実施 2 週間前にすべての自転車に空気をいれて確認した。このように、長期間の放置でタイヤの空気が抜けているだけの可能性も考慮したほうがよい。

・今後の対象自転車の台数増加への対応

今回も数十台程度の規模であったため、パンク等の修理を要する自転車も譲渡対象としたが、次回以降 100 台を越えるようであれば、修理を要する自転車は最初から対象外として集積しない、などの対応をしてもよいだろう。実際、今回 60 台の自転車のうち状態のよいものは 20 台弱で約 3 割であったが、来年度以降、所有者に連絡がとれない自転車も含めることができるのであれば母数が 3 倍以上になり、配布可能で状態のよい自転車も 70~80 台規模になることが期待できる。

環境三四郎

小川 和孝 (教育学部)

小川 拓哉 (農学生命科学研究科)

越智 真奈美 (医学部)

武部 芳弘 (工学部)

椿 晴香 (理学部)

宮森 映理子 (農学生命科学研究科)

脇本有希 (新領域創成科学研究科)

資料1 ポスター

掲示場所：一般掲示板(構内10か所、学生生活チーム管轄)
教務掲示板(9学部、工学部の主な専攻 計約20枚)

自転車リユース!!

本郷キャンパスの放置自転車をお渡しします

<応募方法>
自転車を希望される方は、氏名・所属・学生証番号(教職員番号)を明記のうえ、reusebicycle@gmail.com に、
1月13日(火)17時までにご連絡ください。
ご連絡いただいた方の中から、抽選で約50名に自転車を差し上げます。当選者には別途、集合時間などお知らせします。
※締切後はいかなる理由があっても抽選への参加は認められません。

<対象>
当日、指定した時刻に配布場所に来ることのできる学生・教職員
※身分証にて本人確認を致します。代理での応募や当選後の権利の譲渡などはできません。

<配布場所・日時>
○日時 1月19日(月)・21日(水) 12:20-13:00(雨天決行)
○場所 七徳堂北側通路

<注意事項>

- ・防犯登録手数料(500円)が必要となります
- ・大学の駐輪登録を別途行っていただきます
- ・パンクなどの修理が必要な自転車が30台程度含まれます



東京大学本部交通管理チーム・環境三四郎
ご質問などはreusebicycle@gmail.com まで